

モニタリング結果報告書（平成24年度下半期）

施設 指定管理者 指定期間 施設所管課	(三崎漁港) 本港特別泊地・本港環境整備施設 スバル興業株式会社 平成23年4月～平成28年3月 水産課 (東部漁港事務所)
------------------------------	---

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

C

<判定理由>

的確な荒天対策や避難訓練の実施、災害時避難誘導マニュアルの作成、BAN（プレジャーボートレスキュー制度）拠点としての業務開始など、安全安心面で水準の高い取り組みを実施したほか、無料貸出用大型フェンダーを常備するなど利用者のサービス向上に努め、加えて地域のイベントにボランティアで積極的に貢献し、地元との信頼関係を築くなど、良好な管理運営状況である。しかしながら、経営的には近隣類似施設との競合により、公募資料に比して2/3近い減収が依然として続く一方、支出は固定費が大半を占めるため、収支状況に課題が残ることからC判定とした。

- A：提案を上回る取り組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取り組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取り組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取り組みを実施していない。また、提案どおりに取り組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月8日	11月26日	○	○	○	無	なし
11月	12月10日	12月26日	○	○	○	無	なし
12月	1月8日	1月28日	○	○	○	無	なし
1月	2月8日	2月19日	○	○	○	無	なし
2月	3月8日	3月27日	○	○	○	無	なし
3月	4月8日	4月24日	○	○	○	有	転倒事故の再発防止策を講じるよう指導した。

3 指定管理者が提案した取り組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	提案内容の要旨を記載 ○安全・安心で快適な施設の維持管理及び運営を行うため、予防保全に重点を置いた点検・修繕を実施する。	実績又は今後の見込みを記載 ○救命浮環上部カバー取り替え（10月） ○台風シーズンや波浪・暴風警報などの発令時には、的確な荒天対策を実施し、被害の未然防止に努めた。（10月、2月、3月） ○大津波警報を想定して、他社と合同により一般客と関係者を高台に避難させる災害時避難訓練を実施した。（11月） ○災害時に迅速・適切な避難誘導を行うため、大規模災害時避難誘導マニュアルを作成した。 ○自社で用意した救助船兼作業船に曳航索を新規に配備した。（3月～）

	提案内容	実施状況
2	<p>提案内容の要旨を記載</p> <p>○顧客満足度の高いサービスの提供により、利用者へのサービス向上を図る。</p>	<p>実績又は今後の見込みを記載</p> <p>○上半期に引き続き無料貸出用大型フェンダーを配備した。</p> <p>○ステージイベント用のステージを直営で作成し、利用を開始した。</p> <p>○緊急事態への対応をより迅速に行うため、国際VHF無線基地局の申請を行うとともに、BAN（ブイ・ジャボートレスキュー制度）拠点として業務を開始した。（2月～）</p>
3	<p>提案内容の要旨を記載</p> <p>○プレジャーボート、自動車での利用者の地元周辺地域への誘導を図るため、海・水辺の魅力情報や三崎漁港の魅力情報などを広く一般に発信し、指定管理施設の価値向上に努める。</p>	<p>実績又は今後の見込みを記載</p> <p>○ホームページやツイッターで地域の魅力を広く発信した。</p> <p>○上半期に続き、三崎下町グルメ情報・MAPの無償配布を行った。</p> <p>○東京夢の島マリーナ及び横浜国際ポートショウのイベントに参加し、三崎のPRを行った。</p>
4	<p>提案内容の要旨を記載</p> <p>○ヨットレース開催実績を活かして、地元ヨットレースやイベント等への開催協力を行う。</p>	<p>実績又は今後の見込みを記載</p> <p>○三浦市防犯の集いコンサートにてボランティアで音響を担当した。（10月）</p> <p>○三崎港町祭りのステージイベントとで音響を担当した。（10月）</p> <p>○北条・里見水軍ヨットレースにバース無償提供・レース本部艇運営実施で協力した。（11月）</p> <p>○町ごとカルチャー三崎のステージ音響を担当した。（12月）</p> <p>○新たな観光の核づくり構想認定記念イベントにボランティアで協力した。（2月）</p> <p>○銀座通り商店主催のライブ運営にボランティアで協力した。（2月、3月）</p>
5	<p>提案内容の要旨を記載</p> <p>○自主事業として地域活性化、三崎漁港多目的利用の促進を目的に、ヨット体験スクール、みさきオープンミュージアム、レンタサイクルを実施する。</p>	<p>実績又は今後の見込みを記載</p> <p>○利用者のための利便施設として、交流広場に自動販売機の設置を継続した。</p> <p>○指定管理者の公募時に計画したヨット体験スクール、レンタサイクルなどの自主事業については、資金面、地元調整等にお課題を残すが、指定期間中の早期実施に向けて関係機関等との調整に前向きに取り組んでいる。</p>

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		—	31,930	1,350	33,280	30,481	2,799
予算額	前年度	—	31,000	1,352	32,352	32,352	0
	上半期	—	—	—	—	—	—
	下半期	—	—	—	—	—	—
	今年度	—	12,000	1,500	13,500	29,014	▲ 15,514 ①
	上半期	—	—	—	—	—	—
	下半期	—	—	—	—	—	—
下半期実績額	10月	—	818	96	914	1,750	▲ 836
	11月	—	839	146	985	1,762	▲ 777
	12月	—	973	386	1,359	2,060	▲ 701
	1月	—	753	121	874	1,787	▲ 913
	2月	—	781	137	918	1,821	▲ 903
	3月	—	1,060	197	1,257	1,871	▲ 614
	今年度 下半期合計	—	5,224	1,083	6,307	11,051	▲ 4,744 ②
	前年度 下半期合計	—	4,589	1,074	5,663	11,616	▲ 5,953
	対前年度下半期比			③	11.4%	-4.9%	
参考	今年度 上半期合計	—	5,562	708	6,270	11,697	▲ 5,427
	今年度 合計	—	10,786	1,791	12,577	22,748	▲ 10,171

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	○	駐車場の収入が公募時資料に比べ、大幅減となる見込みであり、一方で経費の60%近くが人件費と駐車場料金徴収機器に係る費用であることから、安全安心な施設運営のために節減可能な経費が限られており、経費節減が極めて困難であるため。
② 今年度下半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	○	平成23年4月の指定管理業務開始と同時期にオープンした近隣駐車場との競合により利用者が激減し、公募時の資料に比して1/3程度しか収入が確保できない一方で、固定経費の割合が高く、削減可能な経費が限られており、経費の節減が極めて困難であるため。
③ 収入額又は支出額が前年度下半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：5万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期		
下半期		
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	2,160 人	1,954 人	10.5 %
11月	2,377 人	2,423 人	▲ 1.9 %
12月	3,731 人	3,761 人	▲ 0.8 %
1月	2,536 人	2,510 人	1.0 %
2月	2,566 人	2,301 人	11.5 %
3月	3,515 人	2,538 人	38.5 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	14,479 人	14,411 人	14,479 人	▲ 0.5 %	▲ 0.5 %
今年度下半期計	15,487 人	16,885 人	15,487 人	9.1 %	9.1 %
今年度合計	29,966 人	31,296 人	29,966 人	4.5 %	4.5 %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度下半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度下半期の利用者数が目標利用者数を下回った	×	該当なし
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	27 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	33 (0)

(参考)

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	6 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備	駐車場料金精算機の液晶が見えにくい	表示濃度調整により対応
	駐車場のバーが上がらない。(利用者の緑化協力金制度の理解不足による精算機の操作ミス。)	案内板による周知を行っているが、限界がある。制度そのものがわかりにくいとの苦情も多い。
職員対応		
事業内容	まぐろ船がゲストバスにはみ出して係留しており、利用に支障がある。	まぐろ船の入港状況について、事前に情報提供を受けることとした。
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
10月13日	出港しようとしていたヨットの後部が別のボートの後部にぶつかった。	ヨットをバースに戻し、オーナー同士で話し合いをするようお願いした。	出港時にヨットが十分後進しなかったことが原因であり、管理者の瑕疵ではないが、今後は充分後進をしてから離れるよう利用者に伝えることとした。
3月17日	歩道を横断した電源コードのゴムカバー（幅11cm、高さ最大2cm）に、歩行者が足を引っかけて転倒した。	観光バスのツアー客であったため、主催の旅行会社がすべての対応を行うこととなった。	電源コードのカバーは歩行者の転倒防止を目的に設置したものであるが、歩道を横断して設置しており、高齢者への危険性について配慮が足りなかった。

9 随時モニタリングの実施状況

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
3月21日 (3月17日)	電源コードを歩道に設置した経緯と転倒事故の原因について聞き取り調査した。	もともと転倒防止用のカバー設置であり、段差も2cm程度であったため、これが原因しての転倒は予見していなかった。3月中に移設を検討する。(4月15日移設完了。)
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

<p>公募時に提案したHPやツイッターでの情報発信など、利用促進に係る取り組みを着実に実施し、特に特別泊地については、係留装備の少ない利用者に大型フェンダーを無料で貸し出すなど、専門性を生かした質の高いサービスが提供できている。また、防災の観点から荒天対策も充分であり、津波を想定した災害時避難訓練を近隣事業者と共同で実施するなど、安全安心な施設運営が滞りなく実施されており評価できる。</p> <p>また、地域活性化のためのイベント等にはボランティアで積極的に参加し、音響などの得意分野を生かした地域貢献を行っており、評価する。</p> <p>一方で、近隣に23年4月に類似駐車場がオープンしたことにより、利用者が減少し、初年度である23年度に引き続き、公募時に想定した収入の1/3程度しか確保できない状況であり、不具合の多い駐車場精算機の更新ができないなど、収支状況にはなお課題が残る。安全安心の面から、節減できる経費には限りがあるものの、さらなる経費節減の工夫が求められる。</p> <p>しかしながら、近隣類似施設との競合による2/3近い大幅な減収は、公募時には想定できなかった要因でもあり、指定管理者制度の根幹に関わる重要な課題とも考えられ、収支の改善について指定管理者の努力のみに期待するのは困難な面もある。</p> <p>公募時に提案した自主事業のうち、地域の魅力発信のツールとしてのグルメマップの無償配布は、利用者と周辺店舗の双方に好評を博し、同マップの取材・制作を通じて、地域の信頼も徐々に増しており、評価できる。ヨット体験スクール、みさきオープンミュージアム、レンタサイクルの導入などについては、資金面や地元調整などに課題があるが、指定期間中の実施に向けて関係機関との調整を積極的に行うなどの努力を続けている。</p>
